

第七回 BCP 維持管理研究会 議事録

1. 開催場所

- (1) 開催日時： 2011年1月20日(木) 16:00~18:00
- (2) 場所： 富士通エフサス サポートセンタ 2Fプレゼンルーム
東京都港区浜松町1-5-1
<http://jp.fujitsu.com/group/fsas/facilities/tokyo/support.html>
- (3) 議長：深谷純子
- (4) 議事録：窪谷貴正
- (5) 出席者(敬称略)：中谷、田中、窪谷、深谷、中山
(法環境研)：上田 合計6名
- (6) 次回開催予定
 - ① 開催日時：2011年2月17日(木) 16:00~18:00
 - ② 場所：CSK様 青山ビル
 - ③ 議題：BCPの維持・管理方法
- (7) 配布資料
 - ① DRII 訓練資料
 - ② BCI 訓練資料

2. 議事内容

- (1) BCI、DRIIでの訓練の定義(前回の続き)

上田さん

- ・BCI 事業継続マネジメント実践ガイドライン2008の紹介
- ・第5節 BCM活動の演習、維持、及びレビューについて(読み合わせ)
- ・BCMの能力は、演習が実施されるまでは信頼性があると言えない
- ・演習の種類(机上確認、全体確認、シミュレーション演習、活動テスト、フルテストなど)
- ・言葉の定義にあまりとらわれず、演習(訓練)の目的に応じてどのような形をとるかを決めればよいのではないか
- ・訓練を行うときに、訓練を行うことによる通常業務の中断(混乱)のリスクを考え、企業がそれを受け入れることが必要となる。また状況によっては訓練を中止することも予め考えておく必要がある。

中谷さん

- ・DRIIの訓練・演習について紹介
- ・Awareness(気づき)：e-learning、Mock disaster
- ・Training(研修)：Practice、Drill
- ・Testing(テスト)：Equipment(設備)、Technologies(技術)、Durable good(耐久力)
- ・Exercises(演習)：脆弱性の発見 People(人)、Process(プロセス)、Procedure(行動手順)
- ・訓練では目的と範囲を明確化し訓練プログラムを策定する必要がある。

(2) フリーディスカッション

・監査のとき、訓練時の評価以外に、各部門の PDCA 実施状況に関する評価をしているかどうかは問われないのか？（窪谷）

→そこはあまり問われない。極端な話、BCMの規程が更新（改訂）されていればOK（中谷）

・新型インフルエンザの訓練はいつも同じパターンになることはないか？（窪谷）

→訓練時に、動けるメンバーをコントローラーが指名して制限することで、都度異なった対応が要求される状況を作り出すことができる。（中谷、上田）

・今後の議題として、BCPの維持・管理方法に関して取り上げていくこと検討する

以上